



# 図書館だより

2017  
3月

能勢高等学校図書館

春は、もうすぐ・・・

新しい本、入りました。

## 第156回 芥川賞



しんせかい

山下澄人著  
新潮社

9歳の山下スミトは演劇塾で学ぶため、船に乗って北を目指す。辿り着いたその先は【谷】と呼ばれ、俳優や脚本家を目指す若者たちが自給自足の共同生活を営んでいた。苛酷な肉体労働、【先生】との軋轢、そして地元の女性と同期との間で揺れ動く思い。気鋭作家が自らの原点と初めて向き合い、記憶の痛み貫かれながら自らを語る。

## 第156回 直木賞

蜜蜂と遠雷

恩田 陸著  
幻冬舎



養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年・風間塵 15歳。かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、数多の天才たちが繰り広げる競争という名の自らの闘い。人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。

## 騎士団長殺し 1・2部 村上春樹著 新潮社

『1Q84』から7年——、書き下ろし本格長編

その年の五月から翌年の初めにかけて、私は狭い谷間の入り口近くの、山の上に住んでいた。夏には谷の奥の方でひっきりなしに雨が降ったが、谷の外側はだいたい晴れていた……それは孤独で静謐な日々であるはずだった。騎士団長が顕(あらわ)れるまでは。



## ストロベリーライフ 萩原 浩著 毎日新聞出版

農業なんてかっこ悪い。と思っていたはずだった。イチゴ農家を継げと迫る母親。猛反対の妻。志半ばのデザイナーの仕事はどうする!? 夢を諦めるか。実家を捨てるか。恵介 36歳、いま、人生の岐路に立つ!



## 雪煙チェイス 東野圭吾著 実業之日本社

殺人の容疑をかけられた大学生の竜実。彼のアリバイを証明できるのはスキー場で出会った美人スノーボーダーただ一人。竜実は彼女を見つけ出し、無実を証明できるのか?



## 恋のゴンドラ 東野圭吾著 実業之日本社

結婚を目前に控えた広太は浮気相手とスノーボードに来ていた。ところが、ゴンドラで婚約者と乗り合わせて…。東野圭吾が“恋愛”という永遠のミステリーに真っ向から挑む短編集。

## 【語学】

方言萌え ヴァーチャル方言を読み解く 田中ゆかり著 岩波ジュニア新書  
関西人でもないのに「なんでやねん!」とツッコみ、土佐出身でもないのに「～ぜよ」と言い切ったり。方言を演出的ツールとして用いることが SNS やゲームを始め巷で流行中! そんなキブンを表すのに最適なヴァーチャル方言は、リアル方言にも影響を与えている。その関係をつぶさに観察すると、日本語や日本社会の新たな断面が見えてくる。



## 【芸術・体育】

西洋美術の歴史1 古代 ギリシアとローマ、美の曙光  
表現

西洋美術の歴史2 中世1 キリスト教美術の誕生とビザンティン世界  
小佐野重利編 中央公論新社



## 期待外れのドラフト1位 元永知宏著 岩波ジュニア新書

甲子園や大学野球で華々しく活躍し、大きな期待を背にプロの道に進んだ選手たち。しかし誰もが思い通りの成績を残せるわけではない。ケガに苦しみ、伸び悩み、挫折感を抱きながらユニフォームを脱ぐ……。けれども人生はまだゲームセットを迎えてはいない。新たな挑戦を続ける元ドラフト1位選手たちの軌跡を追う!

## 【技術・家政】

### 大坂城 絵で見る日本の城づくり 青山邦彦著 講談社

羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)が築城した大坂城をモデルに、城ができあがるまでを描いた、おもしろさ・かっこよさ・かたまり。大きな石をどうやって運ぶ? どんな道具で木を切っているの? お殿さまから密命をうけた忍者が、見たものは…? 巨大な城が建ち上がっていく様子を精緻な絵で楽しむ一冊!



## 【自然科学】

### ノーベル賞でつかむ現代科学 小山慶太著 岩波ジュニア新書

21世紀に入り、日本人の相次ぐ受賞により注目度が高まったノーベル賞。なかでも知的好奇心を刺激してやまない素粒子・物質・生命・宇宙の四つのテーマにおけるノーベル賞 116年の歴史と学問の歩みを科学者達の人間ドラマにも光を当てながら丁寧に解説。現代科学の展開と現段階の概要が見えてくる。



## 研究するって面白い 伊藤由佳理著 岩波ジュニア新書

医学、現代暗号理論、代数幾何学…。現在、中高生の母親と同じくらいの年齢で、大学や公的研究機関で働く女性研究者たちが、どのように進路を選び、研究者になったかという話や、仕事について語る。





**上手な脳の使い方** 岩田 誠著 岩波ジュニア新書  
 自分で考える力が身につく、本当の「学び」とは何か？ 記憶障害や失語症の権威が、脳の基本的な構造や記憶のしくみ、経験を積むことや身体で覚えることの重要性などを通して、上手な脳の使いかたを解説する。

**ビーカーくんとそのなかまたち** この形にはワケがある！  
 うえたに夫婦 誠文堂新光社  
 ビーカーくん、蒸発皿おやじ、ろうとちゃん…。馴染み深い実験器具や、個性的な実験器具たちをキャラクター化して紹介。普段実験をしている理系の人から小中学生まで楽しめる、見たことのある実験器具の見たことのない図鑑。



**【社会科学】**  
**ヒロシマにきた大統領** 核の現実とオバマの思想  
 朝日新聞取材班著 筑摩書房  
 広島原爆投下から 71 年。現職の米大統領が初めてこの地を訪問し、被爆者と対面した。「核なき世界」を目指すオバマ大統領を軸に、「核の現実」を多角的に描く。オバマ大統領の広島演説の全文訳・原文も収録。



**老いる家 崩れる町** 住宅過剰社会の末路 野澤千枝著 講談社  
 私たちは、「人口減少社会」なのに「住宅過剰社会」という不思議な国に住んでいます。現在約 800 万戸の空き家が 15 年後には 2100 万戸を超える… 3 戸に 1 戸が空き家に！「再自然化」する空き家、スラム化する分譲マンション、漏水・破裂する水道管、不便な立地の「サ高住」住みやすい「まち」に必要なものとは？



**地震イツモマニュアル** 梶谷牧子著 ポプラ社  
 阪神・淡路大震災の被災者の声と工夫をまとめた「地震イツモノート」の実践版。「モシモ」ではなく「イツモ」できることが詰まった、本当に役立つ防災マニュアル。グーグル等各企業が防災に役立つ情報を紹介するコラムも掲載。



**紛争・対立・暴力** 世界の地域から考える 西崎史子著 岩波ジュニア新書  
 近年、世界の各地域ではさまざまな「対立」や「断絶」が顕著になっている。IS の動きや欧州諸国における移民問題など、「宗教」、「人種・民族」、「貧困と格差」などが複雑に絡み合った「対立」が形づくられてきた。本書ではそれぞれの地域に見られる「紛争」「対立」「暴力」の背景を解説、国際社会における共存・共生の道を探る。



**基地、平和、沖縄** 元戦場カメラマンの視点 石川文洋著 新日本出版社  
 米軍基地は日本に安全をもたらすか。安保法制は日本を守るのか。かつて日本軍は沖縄戦で住民を守ったか……沖縄出身で幼少時に第二次世界大戦を経験、ベトナム戦争をはじめ、カンボジア、サラエボなど、多くの戦場を命がけで取材してきたカメラマンが綴る今の日本の姿。岐路に今後を考える上で貴重な、現場から見た戦争論。



**歯科衛生士・歯科技工士になるには** 宇田川廣美著 ペリかん社  
 歯科医師をサポートし口腔ケアを行う歯科衛生士と、入れ歯や差し歯、矯正装置などを作る歯科技工士。どちらも歯科医療に欠かせない職業です。国家試験に合格すれば就職率はほぼ 100%という人気職業でもあります。歯科医療の中でそれぞれが担う役割、さまざまな場所で働く姿も併せて紹介します。

**動物飼育員・水族館飼育員になるには** 高岡昌江著 ペリかん社  
 珍しい動物から身近な魚まで、幅広く集めて飼育・展示する動物園や水族館。飼育員には、いきもの世話以外にも生態系や環境、種の保存に関する知識や役割が求められます。動物園・水族館それぞれの専門性、仕事の違いを含め、なりかたや養成課程も詳しく解説します。



**女も男も生きやすい国、スウェーデン** 三瓶恵子著 岩波ジュニア新書  
 女性の議員や大臣も多く、父親の育休取得も当たり前の国、スウェーデン。男女平等政策はここ 30 年で大きく進み、今も日々更新中だ。保育園や学校、企業や社会でどのように取り組んでいるのかを具体的に紹介。また若い世代や子育て世代へのインタビューからも、それらを浮き彫りにする。そこには日本の目指すべき未来へのヒントがある。



**【歴史・地理】**  
**地図化すると世の中が見えてくる** 伊藤智章著 ベレ出版  
 世の中には様々な情報が溢れていますが、これらを地図上に落とし込んでみると、いろんなことが「目に見えて」わかります。本書では自然環境・産業・資源・エネルギー・生活と文化・人口の様々な情報を地図化してその傾向や特徴を解説。例えば「コンビニエンスストアの出店戦略」「外国人旅行者の移動」「産油国の変化」「肉食の地図」など、地図上に可視化して様々な現状をあぶり出していきます。見て読んで楽しむ「地図で学ぶ地理」ともいえる一冊です。



**【総記】**  
**僕らが毎日やっている最強の読み方**；新聞・雑誌・ネット・書籍から「知識と教養」を身につける 70 の極意 池上彰・佐藤優共著 東洋経済新報社  
 ★池上彰氏、佐藤優氏は毎日「何を」「どう」読んでいるのか？  
 ★どうすれば、彼らのように「自分の力で世の中を読み解ける」のか？  
 ★「新聞 1 紙 5 分」「月平均 300 冊の読書」はどうすれば可能か？  
 ★「スマホ」「アイパッド」「新聞電子版」「d マガジン」はどう使いこなすか？



「新聞」「雑誌」「ネット」「書籍」をどう読めばいいのか？  
 そこから「知識と教養」をいっきに身につける秘訣とは？

みんなが知りたかった「2 人の知の源泉」が、いま明らかに！